

8. 総合文化会館をめぐる問題の重要度

問9 総合文化会館をめぐる問題は、市政全体の中でどの程度重要だとお考えですか。
この中から一つ選んで○を付けてください。

【旧佐久市】			％
1	かなり重要である	211	26.7
2	ある程度重要である	320	40.6
3	どちらともいえない	123	15.6
4	あまり重要ではない	99	12.5
5	全く重要ではない	20	2.5
99	無回答	16	2.0
	合計	789	100.0

【臼田・浅科・望月】			％
1	かなり重要である	195	25.8
2	ある程度重要である	264	35.0
3	どちらともいえない	131	17.4
4	あまり重要ではない	112	14.8
5	全く重要ではない	43	5.7
99	無回答	10	1.3
	合計	755	100.0

一般的に住民投票には、間接民主制を「補完」する役割が期待されている。すなわち、わが国の地方自治においては、首長と議会の意見が対立し政策決定が停滞するようなケースや、首長・議会ともに明確な判断を示すことができないようなケースに関して、直接住民の判断にゆだねることが想定される。ただ、その場合に、政策決定に直接参加することになる住民自身が、争点となる政策課題の重要性をどのように認識しているかによって、住民投票の持つ有効性も変わってくる可能性がある。そこで問9では、住民自身が総合文化会館をめぐる問題について、市政全体の中でどの程度重要だと考えているかを尋ねている。

「かなり重要」と「ある程度重要」の合計で見ると、旧佐久市で約67%、旧町村部でも約61%が重要であると考えており、市政全体の中で総合文化会館をめぐる問題は、概ね市民の間でも重要な問題として認識されていたと言える。

ただ、一言で「重要」と言っても、「建設すること」が重要だと考える人もいれば、「議論すること」が重要だと考える人もいると思われ、その点において、この設問は尋ね方にやや不十分な点があったことも認めなければならない。実際、住民投票の実施が良かったかどうかを尋ねた問5との間でクロスデータを確認すると、住民投票を実施したことが「良かった」と答えた人でも「良くなかった」と答えた人でも、それぞれ旧佐久市で7割以上、旧町村部で6割以上が、問9において「かなり重要」あるいは「ある程度重要」と回答している。したがって、問9の回答は住民投票自体の評価とは単純に結びつくものではなく、その点はやや注意を要する。